

第9回危機対策会議

八潮市中央一丁目の県道交差点中央付近の陥没により、男性1名が乗ったトラックが落下する事故発生から6日が経過した。

昨日、確認された下水と思われる流出については、県民・事業者のご協力もあり一定程度に下がったことから、現在、救助や復旧の大きな妨げとなっている大量の土砂やがれき等の除去、そして地下水のくみ上げやバイパス化等を急ピッチで進めている。

その一方で、残念ながら、救出活動を担う草加八潮消防等の活動の支障となっていることには変わりがない。

現場において、全力を挙げて作業に当たっているところであるが、救出や復旧までには更なる時間を要する可能性が高く、県民・事業者の皆様や周辺道路を利用される皆様には、大変なご迷惑をおかけしている。

県民の皆様にはすでに多大なご協力をいただいているところではあるが、流入する下水の更なる低減を図り、救出作業を推進するために、明4日午後2時から5時まで、可能な限り水の使用を控えていただきたくお願い申し上げます。

改めて申し上げますが、これまでは洗濯や風呂の頻度の調整などをお願いしてきたが、やむを得ない場合を除き、12市町の該当する地域においては、明日午後2時から5時まで可能な限り水の使用をお控えいただけるようお願い申し上げます。

なお、この際には県で今行っている作業の確認、具体的にはこの午後2時から5時までの間、救出に向けた最善の環境を確保するため、推移がどの程度の時間をかけてどの程度下がるの

か、また下がった場合には、管渠の中を確認できるかなども確認するとともに、同時にドローン等を活用してこの何らかの支障について確認ができるかを、明日、私どもで調査をさせていただきたく、改めて午後2時から5時までの間のご協力をお願い申し上げます。

これ以外の時間帯においては、引き続き、洗濯や風呂の頻度を下げていただくなど、可能な範囲でご協力をお願い申し上げます。なお、明日、どの程度下水の状況が下がるかなどを確認し、その後数日にわたり同様のお願いを行う可能性についても、現時点で申し上げておきたい。

度重ねてにはなるが、今回事故に伴い、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げますとともに、被害の拡大防止やその影響を最小限にするよう県として全力を尽くしていく。

また、職員においては、引き続き、国や市町村、消防、警察、ライフライン事業者だけではなく、あらゆる関係機関との連携を密にし、様々な側面から地域を支えるよう、ワンチームでの対応をお願いします。

最後に、国土交通省、消防庁、自衛隊等の国や日本建設業連合会をはじめとする企業・団体の皆様の御協力に感謝するとともに、県民の皆様には大変ご迷惑をおかけするが、引き続き、御理解と必要な協力をいただけるようお願い申し上げます。

以上。